

## 令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

朝日村

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	森林整備事業（野俣沢林間キャンプ場付近）
事業費		693,000円（うち支援金：682,000円）

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

- ・全体の 87%を山林が占める朝日村ではありますが、朝日林野警備連合会の所有者以外の立入りへの警備や鳥獣防護柵により、里と山の間には明確な線引きがされ、山林に親しむ事が困難になりつつあります。三俣沢には、野俣沢林間キャンプ場に併設された森林公園があり、森林に触れられる数少ない環境になっています。

(2) 本事業の目的 ((1) の課題への対応方向について記載)

公園隣接の森林整備を行う事で、森林に触れられる場の整備を行い、魅力向上を図る。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

((1) 実施場所 三俣森林公園（大字古見 7-1）の隣接した森林

(2) 対象者 キャンプ場及び公園利用者

(3) 実施方法 委託業者による整備の実施を計画。

複数年度継続実施による整備をし、森林公園の散策路(遊歩道)を中心とした整備を行う。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画（令和 2 年～ 4 年度）

令和 2 年度 ～ 令和 4 年度

古見 7-1 散策路(遊歩道)に隣接した森林公園整備（連続した個所を実施）

②令和 2 年度 実績

森林公園 下刈り、除伐 0.98 ヘクタール実施



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

- ・村内外の利用者に対し、森林体験できる場所を提供し、森林に親しめる環境整備を行う。

### (2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

- ・事業地は公園の隣接地であり、今後も朝日村の自然環境を体験できる場所として活用を予定している。

### (3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

- ・森林所有者ばかりではなく、公園を訪れる利用者を対象とした啓発、推進ができ、また、一定数利用者の見込める公園隣接地を整備する事で、森林に触れ合う空間を作り、朝日村の自然環境の普及を推進します。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

- ・該当箇所について、豊かな自然環境である事から、環境カウンセラー、村内活動団体等から動植物の生息状況について陸棲ホタルの一種であるヒメボタルと、乱獲による減少が危惧されるヒロバササユリが生息しているとの情報が寄せられた。
- ・配慮の観点から、実施時期を晩秋に実施し、来年の活用につなげたい。

### (2) 課題

- ・今回の事業を通じて、ヒロバササユリとヒメボタルについても、森林体験や観察会などの資源としてとらえていきたい。
- ・除伐整備を実施したが、来年は該当動植物の生息状況を確認しながら、笹刈施業に適した時期に実施したい。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

**事業内容を見直して継続する**

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

- ・今後ともに、森林体験の普及するため事業継続を予定。

ただし、事業内容については、より森林に触れあえる空間を検討し、利用方法の提案を図り、実施したい。

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)